

# ばんしん

2026  
WINTER

No.798

Banshin

特集

創建から1800年以上

悠久の時を紡ぐ廣田神社

はるか遠くの未来をも見据えて

人と神、人と人を結ぶ

見つけよう！播州のいろ、彩々

べにひ  
紅緋

# 新年のご挨拶

二〇二六年元日



播州信用金庫  
理事長

和田 高広

新年あけましておめでとうございます。旧年中は格別のご愛顧を賜り心より感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

昨年を振り返ると、1月の米国トランプ政権発足に続き、日本でも10月に高市政権が誕生し政治的に大きな転換点を迎えた年になったように思います。高市首相は「日本再起」を掲げ、高い支持率を背景に大規模な財政拡大を伴う成長投資を行い、日本経済のデフレ体質からの完全脱却と持続的成長の実現を目指しています。

一方で、世界経済は近年、コロナ禍やウクライナ情勢による供給制約の中で経済対

策として行った財政出動と金融緩和により需要が一気に回復し、インフレ圧力が拡大しています。さらに日米金利差拡大による円安にトランプ関税も加わって日本でも高い水準の物価上昇が続いており、生活者負担が深刻化しています。「令和のコメ騒動」で古古古古米の備蓄放出が話題になったように、生活物価の安定が政権安定の重要課題となってきました。

このような中、発足した高市政権の経済対策は第一が物価対策となり、補正予算においても第二に掲げる成長投資以上の予算を割き、コロナ禍時に次ぐ規模で財政拡大を進めています。しかし、お米券配布など



北条支店長  
北支店長  
御立支店長  
福岡支店長  
揖保川支店長  
神戸西支店長  
英賀保支店長  
今宿支店長  
平野支店長  
広畑支店長  
本山支店長  
赤穂支店長  
太子支店長  
保城支店長  
白浜支店長  
二見支店長  
土山支店長  
稲美支店長

松田 徹  
金澤 健一郎  
鳴瀧 誠二  
若宮 正  
伊織 嘉泰  
喜多 哲也  
小西 利奉  
小池 学  
山田 正樹  
矢野 康政  
板倉 秀樹  
古賀 昌彦  
高橋 宏  
南 賢作  
衛藤 史彦  
増田 浩之

龍野支店長  
青山支店長  
西明石支店長  
荒井支店長  
高砂支店長  
伊保支店長  
別府支店長  
三木支店長  
大久保支店長  
宝殿支店長  
飾磨西支店長  
三宮支店長  
垂水支店長  
灘支店長  
六甲道支店長  
三宮北支店長  
西宮支店長

篠藤 章  
河合 純一  
田内 健太  
辻 裕明  
柴田 純  
齋明寺 俊輝  
關戸 康友  
石井 洋市  
佐伯 宣之  
秋田 一成  
田尾 圭太  
荒川 知樹  
久永 公博  
花畑 智也  
山本 尚弘

尼崎支店長  
今津支店長  
宝塚支店長  
香寺支店店舗長  
伊丹支店長  
西神南支店長  
小野支店長  
塚口支店長  
谷上支店長  
立花支店長  
西脇支店店舗長  
西宮北支店長  
淀川支店長  
豊中支店長

本庄 将人  
山口 忍  
洲崎 裕一  
松田 哲弥  
長井 一樹  
三原 圭太  
水内 浩司  
松崎 博信  
忠政 巨高  
張替 政俊  
山本 真也  
菅 勇斗  
安積 省吾  
西川 久永

安易な分配策には疑問視の声も多く、市場での国債価格下落や円安につながる場面も出ています。円安が輸入物価を押し上げる悪循環に陥るリスクも懸念され、既に膨大な借金を抱える日本にとって、財政拡大による成長戦略はこの先何度でも打てる訳ではない大きな賭けです。

真の「日本再起」には単なる需要刺激ではなく、成長力、生産性の強化が欠かせません。それには日銀が重視している「賃金とインフレの好循環」が重要となります。物価が上がっても賃金が伸びなければ実質所得は低下、消費は縮小し、経済の停滞につながります。逆に、賃金が上昇し企業の価格設定余地が広がれば投資の拡大につながり、デフレの完全脱却と経済の持続的成長につながることができず。

大企業の賃上げの報道は近年続いています。重要なのは日本の雇用の7割を占める中小企業です。大企業と異なり、中小企業は価格転嫁力が弱く、古い業務プロセスや人手不足など生産性が課題です。この状態では賃上げが進まず、経済全体の好循環も成立しません。そのため、成長投資政策の恩恵を中小企業にまで浸透させる必要があります。

高市政権は少数与党であり、他党の意見を入れて的が絞られず、財政が緩みがちのようにも思われます。しかし肝心なのは、

国民が自民党を第一党と選び、総裁選の中で世論が高い支持を与え、その選ばれた政権がまさに日本の成長力のために財政出動をしているということです。多額の借金を背負い財政拡大余力も残り限られる中で、国力回復の賭けに、国民全員で覚悟を持って取り組んでいく必要があります。

”ばんしん“はこれまで地域の事業者の皆様が生産性向上に少しでも資するべく、販路拡大などのマッチングや、DX、海外進出など各種セミナーを行ってまいりましたが、今後一層力を入れることで地域、ひいては日本の経済の持続的発展に貢献できるように努めてまいりたいと思います。

この地域で暮らす皆様、そして事業を営む皆様とともに”ばんしん“は発展してまいりました。これからも引き続きコンプライアンスを遵守するとともに、経営理念である、

- 一、地域の皆様に奉仕すること
  - 一、従業員の幸福を祈念すること
  - 一、金庫の健全な発展を期すること
- を守り、役職員一同、地域の皆様に貢献してまいります。

本年もご指導ご鞭撻のほど何卒よろしく  
お願い申し上げます。

## 謹賀新年

会長  
理事長  
専務理事  
常務理事  
常勤理事  
常勤理事  
常勤理事  
常勤理事  
常勤理事  
非常勤理事  
常勤監事  
常勤監事  
非常勤監事  
非常勤監事

和田 長平  
和田 高広  
尾崎 嘉則  
宮崎 八千代  
立花 潤  
郷 佳也  
田村 千加  
高濱 秀輔  
橋田 雅史  
高野 勝  
宮阪 隆彦  
岸本 芳彦  
杉山 正幸  
土部 英一

執行役員  
事務部長  
執行役員  
東灘支店長  
執行役員  
監査部長  
リスク統括部長  
総務部長  
経営企画部長  
IT企画統括室長  
人事部長  
研修部長  
企業革新部長  
総合資金部長  
営業統括部長  
審査部長  
国際部長  
事業支援部長

三宅 敬子  
紀 保邦  
三木 昌武  
松本 康裕  
磯野 太嗣  
柴田 篤志  
福田 哲也  
岩上 直樹  
森田 栄作  
高安 信三  
山本 竜也  
森下 真也  
田上 憲  
益田 達也

システム部長  
夢みらい支店長  
本店営業部長  
駅前支店長  
船場支店長  
西支店長  
加古川支店長  
野口支店長  
相生支店長  
上郡支店長  
野里支店長  
兵庫支店長  
東加古川支店長  
東支店長  
花田支店長  
飾磨支店長  
市場支店長  
網干支店長  
明石支店長

井原 大輔  
沖谷 晋  
石見 陽三  
北中 重之  
小野 寛司  
吉田 征勇  
寶角 和宏  
住谷 太一  
平田 修一  
柴原 智子  
是井 隆之  
福島 秀一  
深浦 清輝

見つけよう！播州のいろ、<sup>いろいろ</sup>彩々

四季折々の自然を繊細な色で表し、染織物や工芸品、文学などに取り入れられてきた「和の色」。ここでは、地域の「今」を表す色を一つ取り上げてご紹介します。

BENIHI

# 紅 緋

べ  
に  
ひ

平安の王朝文化において、貴族の衣装や装飾に用いられた雅な色「紅緋」。紅花の染料から得られるこの色は、燃えるような生命力とともに、祈りや祝福の象徴でもありました。現代でも巫女の袴や、祝いに欠かせない紅白飾りなどで目にすることができ  
ます。

表紙の写真は廣田神社の正月行事である「開運大的御弓始」の一幕。その年の運を占い、妖魔退散・家内安全を祈る、古式ゆかしい神事の様子です。



特集

創建から1800年以上

悠久の時を紡ぐ廣田神社

兵庫県西宮市大社町に鎮座する廣田神社。

創建は西暦201年と伝えられ、

日本最古の国史書『日本書紀』や

平安時代に編まれた法令集『延喜式』えんぎしきにも

その名が記された由緒止しき古社です。

長い歴史のなかで

人々は願いを捧げ、祈りを重ね、

感謝の心を伝えてきました。

静かな杜には、

今も変わらぬ時の流れが息づいています。

現代では、阪神タイガースが必勝祈願に訪れる

「勝運の神社」としても広く知られています。

神々と人が響き合うこの場所に、

新しい年の光が、清らかに降りそそぎます。





昨年(2025年)は、西宮市の市制100周年。写真は市制発足時の本殿。

# はるか遠くの未来をも見据えて 人と神、人と人を結ぶ

神社に来て、見て、感じて  
心の拠り所にしてもらいたい

兵庫県第一の古社、廣田神社。厄除・勝運・開運を祈る神として、また地域の守り神として、古くから人々の信仰を集めてきました。

平安時代には朝廷の崇敬を受け、国家鎮護の社として名を連ねています。白河天皇の時代には、朝廷から特に重んじられた「二十二社」の一社に選ばれ、さらに明治4年には兵庫県で最初の官幣大社に列せられた、社格の高い神社です。

『日本書紀』によると、神功皇后が海外遠征の帰途、沖合で船が進まなくなつた際に西宮の港に入り、天照大御神の「荒御魂」をこの地に祀るよう神託を受けたことが、創建のはじまりと伝えられています。荒御魂は皇居に祀られる「和御魂」と対をなす存在。廣田神社がいかに重んじられて

きたかを物語る逸話です。

宮司の西井璋さんは、この創建の物語を地域の子どもたちにわかりやすく伝える工夫を重ねています。「はじまりは西暦201年。いまから1800年以上も前のことです。

この神社の成り立ちをそのまま話しても、古すぎてみんなピンとこないので、歴史の長さを身長にたとえて



廣田神社宮司  
西井璋さん



境内には、人々の願いや感謝を託された絵馬が掛けられている。



境内の一角につくられた田んぼで子どもたちが早苗を植える「めぐみ廣田の大田植え」。

メジャーで見せたり、あの手この手で伝えるようにしているんです」

もともと神社は「人と神とのつながりを保つ場」であり、同時に「地域の絆を育む場所」でもあります。

しかし近年は時代の変化とともに、そうしたつながりが薄れつつあるのも事実です。

「だからこそ、神社から積極的に働きかけることが大切」と西井さんはいます。

「神社は、目の前のことだけでなく、50年、100年という長い時間の流れで、ものを見なければなりません。物語を伝えるだけでなく、地域の人々に行事や祭りに参加してもらい、見て、感じて、楽しんでもらう。

そうした体験を通して、神社に親しみ、心の拠り所にしてもらいたいですね」

現在はSNSやイベントなど、時代にあった方法も取り入れながら、人々との新たな交流を積極的に育んでいます。

### 地域とともに伝統を復興させ 次の世代へと守り継いでいく

毎年5月の最終日曜日、廣田神社では「めぐみ廣田の大田植え（御田植神事）」が執り行われます。

地元の子どもたちが、花笠を被った「早乙女」や、青いたすきを巻いた「田童」の衣装に身を包み、早苗を手植える、農耕の原点を伝える伝統行事です。

500年以上の歴史を誇るこの神事は、1961年を最後に途絶えていましたが、平成に入り一度再開。しかし、後の阪神・淡路大震災を経て再び中断を余儀なくされました。

その後、1999年に地域住民と廣田神社の氏子総代会の協力によって復興し、現在も受け継がれています。「早苗を植える姿は、子どもを育てることに似ています。褒めて、叱つて、また褒めて……、そうして元気に育つ

ていく。言葉の力は大きいんですよ。この行事を通して、子どもたちが自然の恵みに思いを寄せ、食べものが育つ喜びを感じてくれたらうれしいですね」と、西井さんは語ります。

また2023年には、明治以降途絶えていた「劔珠祭」も150年ぶりに復活しました。毎年8月の第1日曜日開催され、廣田神社に伝わる御神宝「劔珠」が一般公開されます。これは、劔を内包した水晶玉で、神功皇后が得られた如意珠と伝えられる、国家守護の霊宝です。普段は本殿に安置されている劔珠が姿を見せる貴重な機会だけに、多くの人が拝観に訪れます。夜になると、境内に竹灯籠が灯ります。また前日には、地域の人々が運営する雑貨市も立ち並び、たくさんの人で賑わいます。

廣田神社の取り組みは、こうした伝統行事にとどまらず、近年では「巫女体験講座」や「こどもまつり」など、神社と人々をつなぐための新たな活動にも力を注いでいます。「神社は祈るだけの場所ではありません。ここで笑ったり、出会ったりして、人と人がつながっていく。そうやって、神さまのいる日常が続いていくのだと思います」と、話してくれました。

## 福を呼び込む「節分祭」開催

毎年2月、節分の日に行われる節分祭では、午前中は甘酒や福餅の無料授与、午後は豆まきが行われます。前年に応募した、その年の「年男・年女」の人々も豆まき奉仕を行う、大変盛り上がるお祭りです。ぜひご参加ください！



廣田神社の御神宝「劔珠」を模したお守りも授与される。

## 廣田神社の

# いろ。パにほへと

長い歴史のなかで、人々と温かなつながりを育んできた廣田神社。ここでは、その魅力を様々なトピックから紐解いていきます。

## 地域住民発の 雑貨市、イロドリ



暮らしに彩りを添える雑貨をテーマとした「ひろたのいち イロドリ」が、年3回ほど廣田神社の境内で開かれています。運営は近隣に住む女性たち。おしゃれなハンドメイド雑貨やお菓子、キッチンカーなど様々な店が数十店舗並ぶ、恒例のイベントです。



## 勝利へと導く パワースポット



廣田神社は古来「勝運の神」として、源頼朝ら武家の信仰も集めてきました。現代では、阪神タイガースが必勝祈願に毎年訪れるパワースポットとしても全国的に有名です。他にも、バレーボールの大阪マーヴェラスなど、数多くのスポーツチームが参拝に訪れています。



## ろ 禄 くを授かる場所

「禄」とは、神からの恵みを意味する言葉。神社は手を合わせる人々の祈りを届け、穏やかな心を得る場所です。そこで授けられるお守りなどの授与品は、目に見えない神との交流を形にした「禄」とも言えるでしょう。廣田神社では、境内に群生するコバノミツバツツジが描かれたご朱印帳や絵馬をはじめ、様々なお守りなどを授かることができます。



西宮地域にはこの形の注連柱がよく見られる。



## 西宮、 地名の由来



この地域が「西宮」と呼ばれるようになったのは、廣田神社が京の都から西方に位置する重要な神社であることに由来します。平安時代の貴族たちは廣田神社への参拝を「西宮参拝」「西宮下向」と呼んでいたのだとか。その西宮地域、酒蔵が多いことでも有名です。境内には、地域内の酒蔵から奉納された酒樽が飾られています。

## 必見！ ほう納の舞



伝統行事を大切に受け継ぐ廣田神社では、例祭をはじめ、様々な祭事で神楽や舞の奉納が行われます。なかでも、4月第1日曜日に開催される「つつじ祭」で奉納される舞楽は、平安の雅をいまに伝える必見の舞です。また「春祭」では、阪神虎舞も披露されます。

## 青い鳥のおみくじ



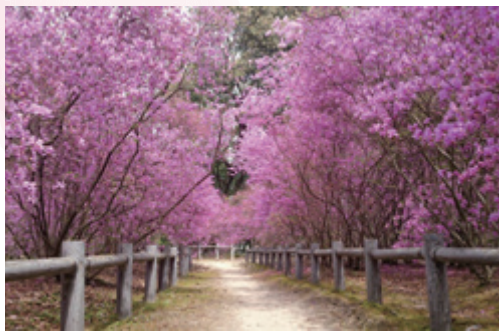
廣田神社の境内では、瑠璃色の美しい羽を持つ鳥「ルリビタキ」が生息しており、運が良ければ姿を見ることができます。そして授与所には、この鳥をモチーフにした「幸せの青い鳥みくじ」が並びます。底についた赤い紐を引くと、鳥の中からおみくじが現れる仕組み。思わず手のひらにのせて、ずっと眺め続けたいくなるような、愛らしいおみくじです。

## へい い和を 次世代につなぐ



毎年7月の最終土曜日・日曜日に開催される「子どもまつり」は、子どもたちに神社を身近に感じてもらうことを目的とした行事です。この日、境内には金魚すくいや射的、ヨーヨー釣りなどの出店が並び、神職も地域住民も総出で祭りを盛り上げます。「子どもたちが大人になっても、楽しかった祭りの思い出とともに、神社を心に残してもらいたい。ずっと平和が続いてほしい」。この行事には、そんな願いが込められています。

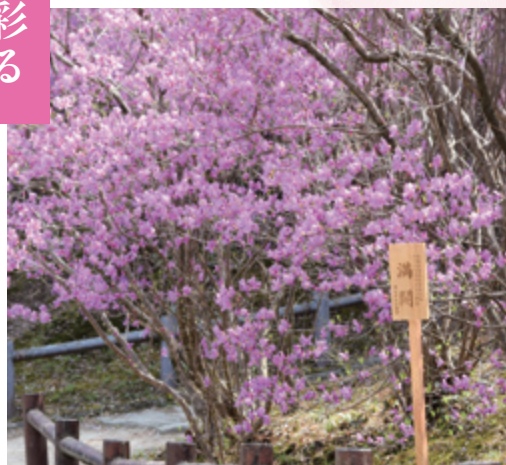
300年以上にわたり人々に慈しまれてきた  
広田山公園のコバノミツバツツジ群落。



広田の杜を鮮やかに彩る

## コバノミツバツツジ群落

廣田神社の境内総面積は、約5万3000㎡。そのうちのおよそ3分の2が広田山公園として市民に開放されており、神域でありながら日々の憩いの場として親しまれています。公園内には、約2万株のコバノミツバツツジが十数ヶ所にわたり群落をつくり、1969年には兵庫県指定天然記念物に指定されました。毎年3月末から4月中旬にかけて一斉に開花し、境内を鮮やかに彩りながら、人々に春を告げます。



### 西宮・春の風物詩

#### 「つつじ祭稚児行列」

毎年4月第1日曜日、満開のコバノミツバツツジに包まれた境内で、「つつじ祭」が開催されます。

この日は、古式ゆかしい装束を身にまとった子どもたちが、稚児行列を行います。これは、子どもたちの健やかな成長を祈る祭事。毎年100人ほどが参加し、華やかな列が参道を彩ります。

また、当日は稚児行列の他にも舞楽が奉納され、西宮の春を告げる風物詩となっています。



# 医療費控除を活用しよう



家族が入院したんだけど、**医療費控除**を受けられるかな？

1年間に支払った**医療費が10万円**（所得200万円未満は所得の5%）を超える場合、その超過分を所得から差し引けるよ。

本人だけでなく、**生計をともにする家族の分も合算**できるんだ。

- 保険診療の自己負担分
- 医師の指示による個室料
- 出産費用、不妊治療費用
- 薬局で購入した市販薬などが対象となるよ。

先進医療やレーシック、インプラントなど、公的医療保険の対象外でも治療や機能回復が目的なら控除対象になる。ただし、保険の給付金などで補てんされた分は差し引かなければならないよ。

Banくん



うちの場合10万円は超えないな……。控除を受けるのは難しいかな。

**セルフメディケーション**という、**医療費控除の特例**もあるからチェックしてみて。

対象のOTC医薬品の年間購入額が12,000円を超えると、その超過分を控除できるんだ。適用を受けるには、**所得税・住民税を納めていること**と、**健康診断の受診や予防接種など健康維持への取り組み**を行っていることが条件だよ。入院や出産など医療費が多い年は医療費控除を、少額の場合はセルフメディケーション税制を利用するといいかもね。どちらも確定申告が必要なので、レシートや証明書の保管を忘れずにね！



有力な情報をありがとう！



	医療費控除	セルフメディケーション税制
対象	医療機関・薬局での医療費全般	対象OTC医薬品(特定の市販薬)
控除対象額	年間医療費が10万円(または所得の5%)を超える部分	年間OTC医薬品購入額が12,000円を超える部分
控除対象者	本人および生計を同じくする家族	本人のみ
対象条件	医療費の支出(保険給付金等は除外)	健診・予防接種など健康維持への取り組み
主な対象例	治療費、出産費、不妊治療費、介護費、インプラント代、薬局購入薬など	風邪薬、鎮痛薬、アレルギー薬などのOTC医薬品
確定申告		必要
併用		不可

# 100年の歴史を礎に、 変わる時代に対応しながら 伝統のおもてなしを守っていく

代表取締役社長

とうたに ゆうへい  
當谷 有平さん

神戸大学大学院修了後、住友商事にて不動産開発やホテル事業に携わる。2021年、家業の有限会社銀水荘へ入社し、翌々に代表取締役社長に就任。まもなく創業100年を迎える老舗旅館「銀水荘 兆楽」の4代目当主として、伝統的な日本旅館のおもてなしを守りながら、デジタル化や多言語対応など現代のニーズに応じた運営を進めている。

有限会社銀水荘

〒651-1401

兵庫県神戸市北区有馬町 1654-1

TEL : 078-904-0666



仕事を楽しむことが  
真心のおもてなしにつながる

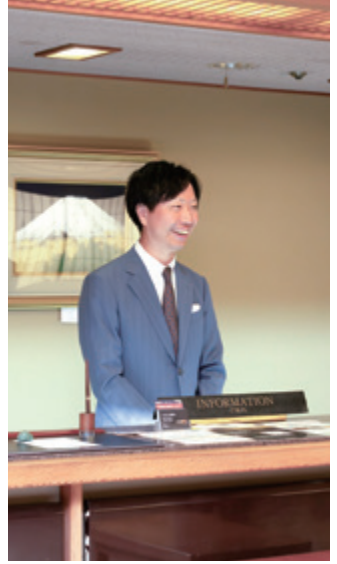
神戸電鉄有馬温泉駅から徒歩約7分。「銀水荘 兆楽」は、自然豊かな高台に佇む純和風の老舗旅館です。

塩分と鉄分を多く含む「金泉」と、ラジウムを含む「銀泉」の両源泉を有する稀有な立地に加え、伝統に根ざした細やかなおもてなしで多くの旅人を魅了してきました。

「創業は1928年、銀泉の井戸を持つ宿『旅館銀水』がはじまりです。その後、金泉の井戸を掘り、昭和40年代に別館として『兆楽』を建てました。初代当主は私の曾祖母で、代々女系で受け継がれてきたため、私が初めての男性の跡継ぎになります」と語るのは、有限会社銀水荘の4代目代表取締役社長、當谷有平さん。

昭和初期に女性が起業して宿を立ち上げることは、決して容易ではなかったはずですが、女性ならではの繊細な感性と気配りが訪れる人を喜ばせ、有馬の定宿とする常連客も多かったといいます。

「うちは温泉街から少し離れているので、窓を開けても隣の旅館と向かい合わせになることはありません。部屋にいながら自然を感じられるのが、この宿のいちばんの特徴です。設えや



馴染みのお客さまも多く、フロントで談笑することも。

料理に季節感を取り入れ、景色や空気静けさも含めてお届けしたいと思っています」

自然に囲まれた立地を活かし、貸切露天風呂や古民家を改装したラウンジを設けるなど、空間づくりにも工夫を凝らしています。そしてもう一つ、當谷さんが大切にしているのは、「真心のこもった接客」です。

「この宿には、パート勤務を含めておよそ150人のスタッフがいます。みんな一定の接遇マナーは身につけていますが、それだけでは十分ではありません。お客さま一人ひとりに合わせた真心のこもった接客をするには、積極的にコミュニケーションをとり、経験のなかで察する力を育てていくことが大切です。失敗してもそれを次の糧にしてほしいですし、何より自分自身も仕事を楽しむこと。楽しければ頑張れるし、結果的に良いおもてなしにつながるのだと思っています」

## 次の100年に向けて揺るがない柱を育てていく

當谷さんが常務取締役として旅館に戻ってきたのは2021年。ちょうどコロナ禍で観光業が大きな打撃を受けている時期でした。

「当時は営業日を週末の3日に絞るなどして経費を抑え、なんとか経営を維持してきました。また、そんな状況でなければできない客室やパブリックスペースの改修などにも力を入れて、コロナ明けに備えたからこそいまがあります。コロナ禍をきっかけに旅のスタイルも変化し、現在では海外からのお客さまのご利用も増えてきました。まさに時代の転換期にあると感じており、悩みながらもその都度、柔軟に対応していかねばと思っています」と語ります。

創業100年の節目を2年後に控え、當谷さんは「伝統を守りながら、変わりゆく時代にどう応えていくか」を常に考えています。たとえば、有馬温泉では部屋食が減少傾向にあります。銀水荘兆楽ではその形を維持しています。

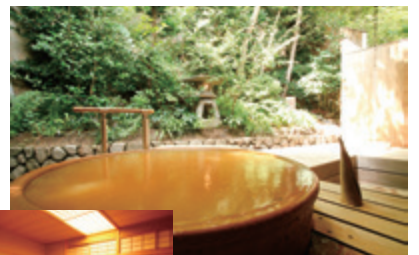
「手間を惜しまず守るべき部分と、効率化すべき部分、その見極めが大切だと思っています」

## Topic

### 隠れ家的な露天風呂付き客室「別邸 紫貴」は最高級の癒やし空間

くぬぎ林のなかにひっそり佇む「別邸 紫貴」。趣きの異なる3部屋が設けられ、それぞれに露天風呂を備えています。専用駐車場から直接部屋に入ることができ、完全にプライバシーが守られる、贅沢な隠れ家です。

この離れは、「銀水荘 兆楽」を愛した作家の田辺聖子さんが「なぜ有馬には露天風呂付きの部屋がないの?」と尋ねたことをきっかけに、2006年に誕生しました。金泉・銀泉を心ゆくまで楽しみたい、そんな方にもおすすめの特別な空間です。



一方で、いま最も大きな課題は「人材の確保」です。

「旅館業界全体で人手不足が深刻化しています。特に仲居や日本料理の職人は減少しているため、地元だけでなく九州や四国の専門学校にも採用

用の幅を広げ、社員寮を新設するなど受け入れ体制を強化しています」

さらに、音楽イベントやプロジェクト、SNS発信にも積極的に展開。SNS発信にも力を入れています。

「旅館はくつろぎの場であると同時に、人が出会い、感動を共有する場所でもあります。水商売とも言われる不安定な業態ですが、だからこそ次の100年に向けて、もう一つの安定した柱を育てようと、いろいろチャレンジしています」

有馬温泉は、環境省が定める9成分のうち7成分を含むという世界的にも稀な泉質を誇ります。當谷さんは、「その文化的価値で心満たす体験を通じて海外にも伝えていきたい」と語ってくれました。



金泉・銀泉が両方楽しめる露天風呂「櫟(くぬぎ)の湯」。他にも様々な趣向をこらした温泉が複数ある。

# お菓子は平和の象徴。 食べる人の笑顔を思い浮かべ、 今日も手を動かす。

代表取締役

くらもと ひろかず

倉本 洋一さん

高校卒業後、18歳で単身渡米。帰国後は神奈川の洋菓子店で修業を積んだ後、商社勤務を経て1998年に株式会社ベルンへ入社し、家業を引き継ぐ。経営理念は「まごころづくり、夢づくり」。父の言葉「お菓子の心は平和な心」を胸に、地域に愛される店づくりを実践するとともに、スタッフの育成や地域連携にも力を注いでいる。

株式会社ベルン

〒663-8182

兵庫県西宮市学文殿町1-8-19

TEL : 0798-54-3439



お客さまがひっきりなしに訪れることから、倉本さんご自身が店頭立つことも。

創業以来、半世紀以上にわたって西宮市甲子園地域に根ざした菓子づくりを続けている株式会社ベルン。そのはじまりは、現在の代表取締役、倉本洋一さんのご両親が開いたわずか4坪半の小さな洋菓子店です。

「創業者である父は幼い頃に両親を亡くし、育ててくれた祖母も14歳のときに他界したことで、中学校卒業後すぐに働きに出た苦勞人です。福岡で菓子職人として厳しい修業を積んだ後、お菓子の本場である神戸に出てきて1968年に自分の店をオープンしました。地域の人々に焼きたてのお菓

50年以上にわたり  
愛され続ける甲子園スイーツ



地元出身の人気アーティストが「よく食べていた」と紹介したことで、さらに注目された「甲子園サブレ」。阪神甲子園球場の認定商品として承認されている。

子を届けたい一心で、試行錯誤しながら丁寧な仕事を守り続け、その4年後に法人化しました。現在は甲子園地域の4店舗にて展開しています。そんな父がある時ふともらした『お菓子の心は平和な心』という言葉は、今もベルンの経営理念『まごころづくり、夢づくり』とともに受け継がれています」

創業者の誠実な姿勢は、「甲子園サブレ」を代表とするロングセラー商品にも表れています。「サブレ」はフランス語で「砂」を意味する「sablee(サブル)」が語源となった言葉です。「甲子園の土(砂)」をイメージして生まれたこの焼き菓子は、開発時のままレシピを変えずに受け継がれ、50年ほど経った今も看板商品として地域の人々に愛され続けています。

## 大きく枝を広げるよりも深く根を張る経営を目指して

倉本さんがベルンで菓子づくりをスタートしたのは1998年、26歳の時です。その頃には、ベルンのお菓子は数々の洋菓子コンクールで入賞し、地元で広く知られる存在となっていました。そんななかで家業を継いだ倉本さんは、経営者としてどんな覚悟をもって舵を取っているのでしょうか。

「私は『店舗数を増やして全国展開を目指す』といったことは考えていません。『成長』と『膨張』はまったく違うものですから、自分の目の届く範囲で、父の思いを大切に受け継いでいきたい。長年ベルンを愛してくださっている地域の方々においしいお菓子を届けながら、ベルンも、私もスタッフも一緒に成長していきたいと思っています」

そう語る倉本さんは、菓子職人として譲れない信念があります。

「現在の商品の半分は父が開発したもので、残りは私と現スタッフによるものです。常に新しいお菓子を考えています。『甘さ控えめ』というベルンの味だけは決してぶれないように心がけています」

### Topic

## パッケージのモチーフは甲子園球場。たくさんの人の思いをのせた「想いdeキャッチボール®」

幼い頃、父とキャッチボールした思い出をお菓子に込めた「想いdeキャッチボール®」。そのパッケージデザインは地元の女子大学の学生たちが担当しました。「原型は父がつくった『マドモアゼル』というお菓子です。父はその製法を修業先の先輩から教わったそうで、先輩から父へ、そして父から私へキャッチボールのように思いをつなぎ、アレンジを加えて完成させました」。この商品は、「姫路お菓子博2008」で金賞を受賞し、(財)大阪デザインセンターの「グッドデザイン賞」にも輝いています。



茶道などの芸道において、上達のステップを「守破離」という言葉で表しますが、倉本さんは修業時代にその考え方を身につけたそうです。「守」は師の教えや型を守り身につけること、「破」はそれを応用して発展させること、そして「離」で初めて独自のものを生み出すこと。その哲学を軸に、自由な発想を尊重しつつも、ベルンらしさを失わない菓子づくりを続けています。

## つくる人と食べる人をつないでお菓子の背景をも伝えたい

倉本さんは、長期的な取り組みとして「ハッピーファームプロジェクト」

を掲げ、農家や大学と連携しながら一次産業とのつながりを深める活動にも力を注いでいます。

「たとえば、子どもたちが農家さんのもとでお菓子の材料になる果物を収穫し、その場でケーキのデコレーションを体験できたら、楽しく『食育』できると思うんです」

お菓子をつくって販売するだけでなく、その背景にある「食材の物語」や「つくり手の思い」を伝えたい。

そんな倉本さんの願いは、すでにかたちになりつつあります。現在は地元の女子大学と協働でイチゴ栽培を行い、そのイチゴを使った新商品開発なども進めているそうです。



## 懸賞金付定期預金の 抽選会を開催

人気商品としてご好評いただいております懸賞金付定期預金「ベストワン」の第88回取扱分の抽選会を10月3日(金)に開催し、特等から4等までの当選番号が決定しました。当日はお取引先の中から4名の方に抽選委員をお願いし、厳正に抽選を行いました。詳細は当金庫ホームページにてご確認ください。



## 2025年度中間期レポートの開示

当金庫では、地域の皆さまに当金庫の経営内容や活動についてより一層ご理解いただき、お取引いただくため、2025年度上半期(2025年4月1日～2025年9月30日)の主な経営情報を掲載した「中間期レポート」を開示しました。中間期レポートの内容はホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。



## 「第43回ばんしん旅行友の会」 旅行を実施



地域のお客さまとの親交を深める「ばんしん旅行友の会」では、毎年国内旅行を実施しています。今年度は9月から11月にかけて「静岡・大井川鐵道1泊2日」と「沖縄・ジャングリア沖縄2泊3日」「長崎・五島列島2泊3日」を実施し、多くのお客さまにご参加いただきました。



## 「トライやる・ウィーク」の受け入れ

当金庫では、11月10日(月)から11月14日(金)の間、姫路市立琴陵中学校の生徒2名を受け入れ、「トライやる・ウィーク」を実施しました。短い期間でしたが本部や営業店で職場のマナーを学び、



日常業務を体験することにより、信用金庫の仕事に実際にふれてもらいました。当金庫は今後も地域貢献活動に取り組んでまいります。



## 神戸西支店・相生支店 特殊詐欺被害を未然に防止

当金庫では、地域防犯に関する各種活動に積極的に取り組んでおります。この度、適切な対応により特殊詐欺被害を未然に防止したとして9月29日(月)に神戸西支店へ長田警察署より、10月1日(水)には相生支店へ相生警察署より感謝状を拝受いたしました。店頭・ATMでのお声かけやお客さまの言動への気配り、また警察との連携が特殊詐欺を防止する結果につながりました。当金庫では、お客さまの大切なご預金を犯罪から守るため細心の注意をもって被害防止に努めてまいります。



## 「小学生の職場学習体験」 の受け入れ



当金庫では、職場体験学習の機会を提供しています。2025年10月～11月には、「町たんけん」の学習として、香寺支店へ香呂小学校、小野支店へ小野東小学校、今宿支店へ高岡小学校、

船場支店に船場小学校の児童が訪れ、営業店内部の見学、職員へのインタビューなど様々な体験をしていただきました。今後も地域活動に寄与し、地域の皆さまとの交流を深めてまいります。



## 文化講演会の開催

当金庫は地域の皆さまに質の高い情報を提供するため、経済、政治、文化等多岐にわたる分野の専門家・評論家等著名な講師を招き、文化講演会を開催しています。今年度は、10月22日(水)に神戸国際会館こくさいホールにて、ジャーナリスト 池上彰氏を迎え、「ニュースから世界と日本経済が見える」をテーマにご講演いただきました。

